

山形在来作物研究会にもスポット

金丸弘美著「タカラは足元にある！」

食環境ジャーナリスト、丸弘美さんが、昨年12月の食総合プロデューサーの金「里山産業論」(角川新書)



に続き、いかに地方を元気にするかをさまざま事例

を紹介しながら伝えている

「タカラは足元にある！」

地方経済活性化戦略」を合

同出版から刊行した。第1

章では鶴岡市の「山形在来

作物研究会」の取り組みに

ついて紹介している。

地方でも都市でも、時代

の流れに合わせて需要が変

化しており、そうした変化

に柔軟に対応している事例や、他業種・他分野の連携によって新たな取り組みが生まれている事例を食、健康、伝統産業などを切り口に取り上げている。

著者の金丸さんは195

2年佐賀県生まれ。地域に

根付いた食文化を再発見し、

地域活動のコーディネート

やアドバイス、取材や執筆

活動を精力的に行う。総務

省地域力創造アドバイザー

なども務めている。

同書では、「歴史・文化から地域の独自性を発見し

食に活かす」として鶴岡市の「山形在来作物研究会」について取り上げている。

地域食材を使った料理を提
供する料理家、地元の食材
研究・調査をしている山形

大農学部などの連携により
失われつつあった在来作物
が注目を集め、その土地な

らではのものを食べたいと
いう消費者の需要を生み、
県外にもそういった取り組

みが広がっていると紹介し
ている。

四六判、184ページ。1600円(税別)。